

## 平成30年度 部局長マネジメント方針

副市長 たちばな 立花 しずか 静



### 私の決意

私が副市長に就任させていただき、2期6年目を迎えました。私は常日頃から、市民の皆様が将来にわたって安心して生活を送れるよう、また、本市が持続可能なまちとして発展していくことを念頭に取り組んでまいります。

まず、民生保健分野につきましては、今年度は、様々な課題を抱える人を、公的サービスと地域の支え合いで支援する「我が事・まるごと」のまちづくりを進めるために第5期地域福祉計画の策定を行い、高齢者・障害者・子ども・生活支援等の公的な福祉サービス支援ネットワークと、支える側として地域で活動している地域団体が連携した、地域福祉ネットワークの再構築に取り組んでまいります。

また、経済的な理由から家で満足な食事が取れない子どもや、夕食を1人で食べている孤食の子どもが地域内で安心して過ごせる居場所作りとして「子ども食堂」に対する助成や、学習支援などを行ってまいります。

次に、建設水道分野につきましては、本市の南北を繋ぐ新たな公共交通網の整備事業として大阪モノレール南伸事業に取り組んでまいります。今年度は、新設する仮称鴻池新田・荒本・瓜生堂の3駅周辺の駅前広場やモノレール軌道の都市計画決定を行ってまいります。また、東大阪新都心整備計画において荒本・長田地区が新都心として位置づけられておりますが、計画に基づく施設誘致は概ね完了しており、このモノレール南伸事業を契機として、現在策定中の立地適正化計画を踏まえた上で、新たな荒本・長田地区のまちの将来像をお示しできるよう検討を行ってまいります。

また、空き家対策につきましては、昨年は実態調査に基づき、特定空き家等に5件判定いたしました。今年度は、特定空き家等の所有者に対して指導を行うとともに、空き家対策セミナーを開催するなど、地域の方々等と連携をはかり空き家の利活用について検討を行ってまいります。

大阪瓢箪山線の道路整備につきましては、ラグビーワールドカップ2019開催までに、中央環状線から東花園駅西側までの区間の整備を着実に進めてまいります。

最後に、上下水道施設再構築事業につきましては、老朽化した水道管・下水管の更新及び

耐震化を計画的に進め、市民生活に支障を生じさせないように、安全・安心で安定した上下水道サービスの提供を図ってまいります。